



証券コード:6943



第73期報告書

2025年4月1日 ▶ 2026年3月31日

NIKKスイッチズ株式会社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

NIKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務課：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

すべてのお客様の製品の品質向上に役立つべく、NKKは絶えず革新し続けます

New Products

TB01シリーズ

半自動ドアスイッチ 音声案内装置



NKKのTB01シリーズは、特定市場である「鉄道車両向け半自動ドアスイッチ」を主用途として2020年に発売した製品です。

鉄道車両の乗客の快適性確保・省エネルギーの観点から、乗客自身がドアの開閉を操作出来る「半自動ドアスイッチ」は寒冷地や長時間停車時車内空調効果を維持するため、近年鉄道会社での採用も増え、NKKのTB01シリーズは操作しやすいとご好評を頂いております。

NKKはさらに、『全ての人に優しい』をメインコンセプトとし、2022年に誰もがわかりやすいよう視認性・誘目性を意識し多様な色覚に配慮した「カラーユニバーサルデザイン(CUD)」に対応したベゼルをラインナップに追加してまいりました。

今回そのTB01シリーズのコンセプトをさらに充実させ深度化する付加機能として、「音声案内装置とスイッチとを一体化」した「音声案内ユニット」を開発いたしました。これは、半自動ドアの採用に伴い「ドアが半自動式であること」や「スイッチ自体の存在・位置」について不案内な乗客の方向けに、誘導・操作促進が可能な商品としてラインナップしたものです。

市場は回復局面に。
「顧客価値の向上」を目指し
積極的に取り組んでまいります。

代表取締役会長

大橋智成

2026/6/26に代表取締役会長に就任いたしました



この1年間の外部環境と 当期業績の概況をお聞かせください。

2026年3月期における世界経済は景気が緩やかな回復にとどまり、加えて地政学リスクの高まり等によって先行き不透明感が強い状況が続いています。日本経済も緩やかな回復が見られる一方、原材料・エネルギー価格、人件費や物流費の上昇等の実体経済への影響に注視が必要です。NECA（一般社団法人日本電気制御技術工業会）の統計データによれば、2025年度制御機器市場出荷総額は前年比109.9%と、3年ぶりに100%を超えました。

このような環境の中、当社グループは2030年のありたい姿として制定したグループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーになります」を実現するため、2025年度より3カ年の中期経営計画Ⅱを開始しました。本計画では次の成長ステージとして「顧客価値の向上」をあるべき姿とし、特殊車両等の「特定市場の深耕」と最適な納期を実現する「生販一体の供給基盤

構築」を重点テーマに掲げてこれらの戦略を着実に推進しました。

過去の先行受注に起因する世界的な在庫調整は、おおむね収束しつつあります。日本市場におきましては、鉄道や重機等の特定市場への販売強化やソリューションビジネスの確立に取り組むなど積極的な施策を展開いたしました。欧米市場では、大手カタログディストリビューターとの協業によるネットセールスの拡大や特定市場への積極的な取り組みを推進してまいりました。アジアでは、中国市場や韓国市場、さらに積極的に新規開拓に努めているインド市場に対して、販売強化項目の一つである特定市場開拓等の施策が実を結びつつあります。

これらの結果、当社グループの2026年3月期における売上高は8,373百万円（前年比110.7%）、営業利益は280百万円（前年は452百万円の営業損失）、経常利益は407百万円（前年は394百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益は292百万円（前年は404百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

中期経営計画Ⅱの1年目が終了しました。 進捗状況をどのように評価されていますか。

一つ目の重点テーマである「特定市場の深耕」につきましては、リーディングカンパニーとの積極的な関係強化に努めた結果、受注件数は2桁成長、引き合い件数はおよそ150％に増加しており、業績に貢献しました。当社が日本の鉄道市場に参入したのは後発ですが、車両ドアの半自動スイッチの置き換えが順調に進んでおります。欧米市場では現状は建設機械が多いですが、鉄道市場の規模は日本の10倍ともいわれており、これを視野に入れて商品開発に取り組みたいと考えております。

二つ目の重点テーマである「生販一体の供給基盤構築」につきましては、従来は各部門が個別に納期遵守に取り組んでいました。しかし、それだけでは目指す納期には限界があり、生産と販売が一体となって取り組むべき課題として意識の浸透を図り、最適ナPSI（Production、Sales、Inventory）手法の導入を進めております。現時点で売れ筋商品に関しては

90％の納期遵守水準にありますが、徐々に売れ筋商品の範囲を広げるとともに納期遵守水準も上げていきたいと考えております。

社外パートナーとの技術協業について、 事例を教えてください。

これからはスイッチ単体を大量販売する時代ではありません。当社グループは70年間に、接点技術や機構技術をはじめとする技術を投入してスイッチの可能性を広げてきました。しかし、リレーやコネクタにも接点があることを考えれば、我々の技術の用途をスイッチに限る必要はありません。もしもお客様が要求する技術が我々にないのであれば、社外パートナーと協業して商品やソリューションを開発し提供することが、「顧客価値の向上」につながります。すでに日本と米国市場においてこうした取り組みを始めており、我々のスイッチ技術を音声技術や無線技術と融合させた商品を開発・納品し、高い評価を得ています。

横浜新工場について概要をご紹介します。

当社グループではメーカーとしての供給責任を果たすため、リスク分散の観点から日本と中国、フィリピンに生産拠点を置いています。そのうち国内の生産拠点であるNKKスイッチズパイオニクス株式会社（横浜市戸塚区）の建屋が老朽化等の理由により生産性をこれ以上向上することは困難と考え、近隣に同社工場を新設し、生産性の向上を図るとともに、将来的には技術の総本山として次世代への技術継承を推進するための技術拠点としても活用してまいります。竣工は2027年3月を予定しております。

企業会計不正やサイバー攻撃等 どのような対策を取られていますか。

近年企業が不祥事を起こす事案や、サイバー攻撃による被害を受ける事案が相次いでいます。軽い出来心や一瞬の気の緩みから、巨額損失や企業信用の失墜につながる可能性があります。そうしたリスクは我々も例外ではありません。そのため全社員を対象にコンプライアンス教育、ガバナンス教育、情報セキュリティ教育を実施するとともに、機会あるごとに注意喚起を行っています。今後とも会社として対応は図っていきますが、最終的には社員の意識に関わる部分も多く、社員の会社に対するエンゲージメントが上がることで「自分たちの会社は自分たちで守る」という気概を持つことを期待しています。

来期の事業環境について どのような見通しをお持ちですか。

2027年3月期については増収減益を見込んでおります。

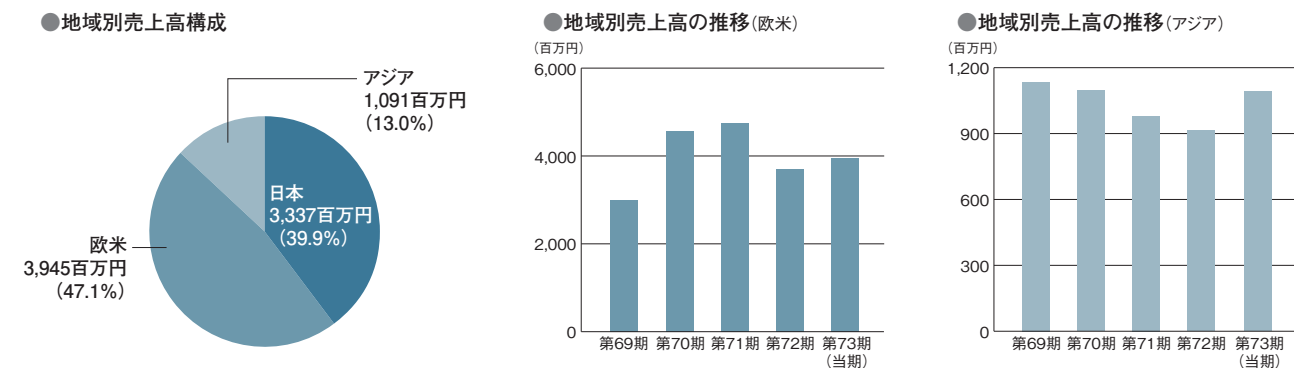
欧米市場では大幅に受注が先行し、日本市場も好調であることから売上は伸びるものと予想しております。しかし現時点（5月18日時点）で中東情勢の先行きが不透明です。原油が入って来ても従来と同じ水準の価格にならないと思われます。加えて貴金属類も高止まりしており、売上原価を非常に圧迫しています。化学製品や石油製品が供給不安から値上げになる可能性もあります。これらの認識から来期は厳しい一年になるのではないかと見ております。その一方で、2021年の米国テキサス州が大寒波で石油インフラが壊滅的な打撃を受けた反動から過剰な発注があった結果、市場では過剰在庫が長期間続いております。しかし2025年の時点でそれがほぼ収束し、現在は正常な受注状況に戻っております。これを受けて当社グループでは2026年3月にすべての自粛を解除しました。2027年3月期からは「攻め」に転じ、当社グループの将来の成長に資する施策を選択して、新商品開発をはじめ集中的に投資してまいります。

最後に、株主の皆様への メッセージをお願いします。

NKKスイッチズは創業から73年間、技術と信頼を武器に、スイッチ製造技術と国内外の生産体制の強みを生かしてさまざまな産業機器分野での高信頼性製品を提供してきました。今後もロボティクスや先端ニーズにも柔軟に対応し、持続的成長と企業価値向上を追求したいと考えております。また当社は株主の皆様への利益還元を重要な経営課題と位置づけており、収益の状況および将来の事業展開等を勘案して安定的な配当を継続的に行うことを基本方針としております。今後とも長期的な株式保有を賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆様には何卒ご理解いただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■ 地域別売上高の推移



生産体制の強化

当社グループは、日本・中国・フィリピンの3工場態勢でリスク分散を計りながら生産の効率化を進めてまいりました。

特にNKKスイッチズバイオニクス株式会社（NSP）は、神奈川県横浜市戸塚区に立地する当社グループの基幹工場としての役割を担っております。

NSPでは他工場に先んじて、自動化やセル生産方式を導入して効率化を推進してきましたが、建屋が2ヵ所に分散していることが更なる効率化の障害となっていました。さらに、NSPは2023年4月に50周年を迎え建物の老朽化も進んでいることから、基幹工場として生産の垂直統合による効率化はもとより、生産技術の高度化ならびに次世代への技術継承を推進するため、2023年度に新たな工場用地を横浜市戸塚区に取得し、2026年2月竣工を目指して工場の移転計画を進めてまいりました。

しかしながら、建築資材の高騰や建設作業員の人手不足など様々な問題が重なり、2025年10月に工場建設が着工いたしました。現在は2027年3月の竣工予定に向けて順調に工事が進んでおります。



地域貢献活動

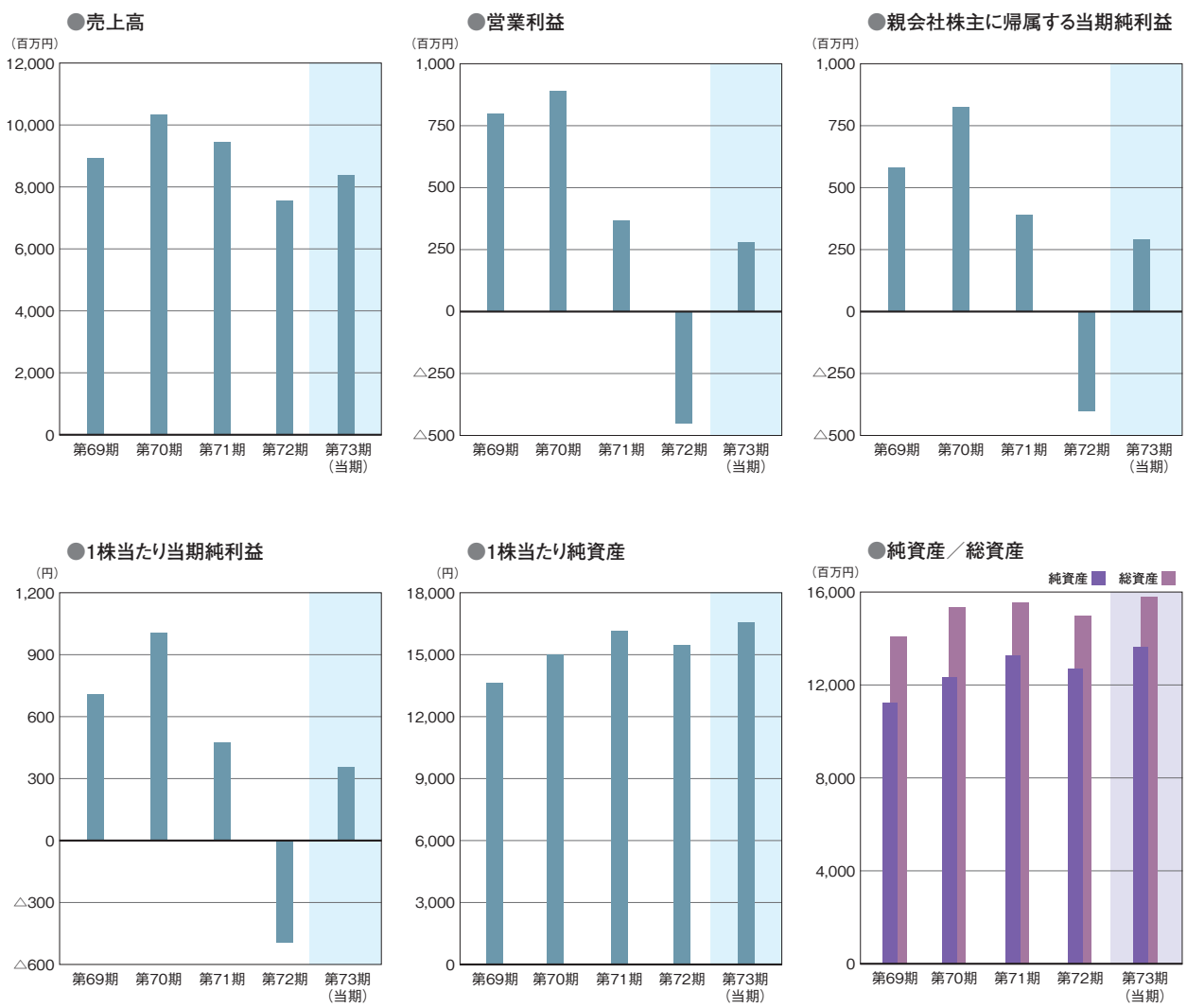
当社グループは、2025～2027年度中期経営計画において、2027年度のあるべき姿の一つに「この地域にあって良かったと思われている企業」を掲げています。

その実現と、従業員エンゲージメントを高めるため、経営として従業員より提案のあった推進活動を推奨し、積極的に実施できるよう最大限の後押しを行いました。

2025年度はその結果として次の活動に取り組むことができました。

- ・社員による手作りの「工場見学」として、地域小学校から社会科見学の2年生児童11名を受け入れました。単なる工場見学にとどまらず、社員が工夫を凝らし実際にスイッチを開発している社員と児童の質疑応答を行い、子供たちに製造業の魅力を知ってもらうきっかけを創りました。
- ・社員による「クリーンアップ作戦」として、最寄り駅である久地駅から本社までの通勤路に沿って社員10名が清掃活動を行いました。地域住民の方からも暖かい励ましの言葉を掛けていただきました。
- ・社員による「こども食堂への募金」を行い、中間団体への寄付を実施いたしました。

社会に信頼される企業を目指し、サステナビリティ（持続可能性）をめぐる課題への対応や、地域における次世代への支援等に今後も継続して取り組んでまいります。



■ 連結貸借対照表

(単位：千円)		
科 目	当期 (2025年3月31日)	前期 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,029,807	9,413,863
現金及び預金	3,718,253	4,688,875
受取手形	285,398	382,039
電子記録債権	210,253	—
売掛金	1,060,867	889,399
商品及び製品	1,149,990	1,141,603
仕掛品	75,839	45,889
原材料及び貯蔵品	2,059,368	1,813,571
前払費用	60,255	54,692
その他	415,313	403,155
貸倒引当金	△ 5,733	△ 5,364
固定資産	6,761,390	5,560,772
有形固定資産	3,540,255	3,170,034
建物及び構築物	1,089,673	1,173,564
機械装置及び運搬具	263,293	255,521
工具、器具及び備品	251,997	361,058
土地	1,042,442	1,038,515
リース資産	204,188	236,407
建設仮勘定	688,660	104,966
無形固定資産	814,336	509,332
投資その他の資産	2,406,798	1,881,405
投資有価証券	1,676,996	1,175,166
長期貸付金	230,365	258,941
繰延税金資産	102,000	76,178
長期預金	200,000	200,000
その他	197,434	171,118
資産合計	15,791,197	14,974,635

(単位：千円)		
科 目	当期 (2025年3月31日)	前期 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債	1,332,521	1,514,606
買掛金	550,441	749,141
未払法人税等	34,031	10,899
賞与引当金	103,516	87,302
役員賞与引当金	21,600	26,400
未払金	162,130	261,530
未払消費税等	5,717	6,348
未払費用	224,091	188,569
リース債務	72,946	61,854
その他	158,046	122,560
固定負債	844,415	757,586
繰延税金負債	395,633	270,338
退職給付に係る負債	56,130	66,722
役員退職慰労引当金	239,500	227,500
リース債務	152,618	192,493
その他	532	532
負債合計	2,176,937	2,272,192
純資産の部		
株主資本	11,150,047	10,923,691
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	9,528,284	9,301,498
自己株式	△ 163,341	△ 162,912
その他の包括利益累計額	2,462,536	1,777,138
その他有価証券評価差額金	927,477	589,389
為替換算調整勘定	1,535,058	1,187,748
非支配株主持分	1,675	1,613
純資産合計	13,614,260	12,702,443
負債純資産合計	15,791,197	14,974,635

■ 連結損益計算書

(単位：千円)		
科 目	当期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	8,373,789	7,564,435
売上原価	4,833,664	4,562,209
売上総利益	3,540,124	3,002,226
販売費及び一般管理費	3,259,347	3,454,703
営業利益又は営業損失（△）	280,776	△ 452,477
営業外収益	156,424	91,963
営業外費用	29,212	34,418
経常利益又は経常損失（△）	407,988	△ 394,932
特別利益	1,215	90,773
特別損失	2,477	118
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失（△）	406,727	△ 304,277
法人税、住民税及び事業税	174,244	43,321
法人税等調整額	△ 60,185	56,784
当期純利益又は当期純損失（△）	292,667	△ 404,384
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失（△）	62	△ 293
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	292,605	△ 404,091

■ 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	株 主 資 本					その他の包括利益累計額			非 支 配 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資本剰余金	利益剰余金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	その他有価証券 評 価 差 額 金	為 替 換 算 調 整 勘 定	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	951,799	833,305	9,301,498	△ 162,912	10,923,691	589,389	1,187,748	1,777,138	1,613	12,702,443
当期変動額										
剰余金の配当			△ 65,820		△ 65,820					△ 65,820
親会社株主に帰属する 当期純利益			292,605		292,605					292,605
自己株式の取得				△ 428	△ 428					△ 428
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						338,087	347,310	685,398	62	685,460
当期変動額合計	－	－	226,785	△ 428	226,356	338,087	347,310	685,398	62	911,816
当期末残高	951,799	833,305	9,528,284	△ 163,341	11,150,047	927,477	1,535,058	2,462,536	1,675	13,614,260

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)		
科 目	当期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	29,622	651,461
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,054,163	△ 642,304
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 128,640	△ 145,778
現金及び現金同等物に 係る換算差額	182,559	△ 15,129
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△ 970,622	△ 151,750
現金及び現金同等物の期首残高	4,688,875	4,840,626
現金及び現金同等物の期末残高	3,718,253	4,688,875

■ 単体財務諸表

■ 会社概要/株式の状況 (2026年3月31日現在)

■ 貸借対照表

(単位: 千円)

科 目	当期 (2026年3月31日)	前期 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	5,374,459	6,441,488
固定資産	6,943,774	5,663,608
資産合計	12,318,234	12,105,097
負債の部		
流動負債	2,470,903	2,628,597
固定負債	640,307	524,532
負債合計	3,111,211	3,153,129
純資産の部		
株主資本	8,279,545	8,362,577
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	6,657,781	6,740,385
自己株式	△ 163,341	△ 162,912
評価・換算差額等	927,477	589,389
純資産合計	9,207,023	8,951,967
負債純資産合計	12,318,234	12,105,097

■ 損益計算書

(単位: 千円)

科 目	当期 2025年4月1日から 2026年3月31日まで	前期 2024年4月1日から 2025年3月31日まで
売上高	6,390,225	5,979,828
売上原価	4,856,708	4,629,454
売上総利益	1,533,516	1,350,373
販売費及び一般管理費	1,869,825	2,080,470
営業損失 (△)	△ 336,308	△ 730,097
営業外収益	318,636	261,368
営業外費用	38,727	52,316
経常損失 (△)	△ 56,398	△ 521,045
特別利益	1,099	90,513
特別損失	454	223
税引前当期純損失 (△)	△ 55,753	△ 430,754
法人税、住民税及び事業税	10,349	6,286
法人税等調整額	△ 49,319	56,122
当期純損失 (△)	△ 16,783	△ 493,163

■ 株主資本等変動計算書

(2025年4月1日から2026年3月31日まで)

(単位: 千円)

	株 主 資 本									評価・換算差額等		純 資 産 計 合	
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証券 評価差額金	評価・換算 差 額 等 計		
		資 準 備 金	資本剰余金 合 計	利 益 準 備 金	固定資産圧縮 記 帳 積 立 金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利 益 剰 余 金 合 計						
当期首残高	951,799	833,305	833,305	181,917	15,972	5,600,000	942,495	6,740,385	△162,912	8,362,577	589,389	589,389	8,951,967
当期変動額													
剰余金の配当							△ 65,820	△ 65,820		△ 65,820			△ 65,820
固定資産圧縮記帳積立金の取崩					△ 915		915	－		－			－
当期純損失（△）							△ 16,783	△ 16,783		△ 16,783			△ 16,783
自己株式の取得									△ 428	△ 428			△ 428
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											338,087	338,087	338,087
当期変動額合計	－	－	－	－	△ 915	－	△ 81,687	△ 82,603	△ 428	△ 83,032	338,087	338,087	255,055
当期末残高	951,799	833,305	833,305	181,917	15,056	5,600,000	860,807	6,657,781	△ 163,341	8,279,545	927,477	927,477	9,207,023

■ 会社概要

商 号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創 業	1951年4月1日
設 立	1953年12月11日
資 本 金	951,799千円
従 業 員 数	連結262名 単体136名
本 社 事 務 所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事 業 所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所 川崎事業所
主 な 事 業 内 容	産業用各種スイッチの製造・販売
連 結 子 会 社	NKKスイッチズ パイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷（上海）开关有限公司 NKK Switches Europe GmbH NKK Switches Mactan, Inc. 恩楷楷开关（东莞）有限公司
ホ ー ム ペ ー ジ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上 場 取 引 所	東京証券取引所

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大 橋 智 成
取 締 役 副 社 長	大 橋 宏 成
取 締 役	海 老 沼 博 行
取 締 役	芦 澤 直 太 郎 (社外)
取 締 役	津 留 崎 貴 子 (社外)
監 査 役	青 木 明 裕
監 査 役	内 木 雅 彦 (社外)
監 査 役	齋 藤 亨 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	2,600,000株
発行済株式の総数	842,520株
株主数	572名

■ 大株主（上位10名）

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
有限会社ビッグブリッジ	132	16.05
株式会社TNNアドバイザーズ	42	5.13
株式会社三井住友銀行	40	4.98
大橋 宏成	30	3.72
大橋 尚子	28	3.41
上田八木短資株式会社	25	3.15
INTERACTIVE BROKERS LLC	23	2.83
大橋 智成	20	2.50
大橋 千津子	20	2.44
久保田 正明	20	2.43

(注) 1. 当社は、自己株式を19千株保有しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

